

## 第4回 教職員のための外国人留学生就職支援研修会

### ～クロストークセッション～

#### トピック①「コロナ禍における留学生の就職支援について」

2021/07/10 (土)

#### \*コロナ禍における職選び・職探しの、実践事例の共有

例：元々メーカーや商社で母国語を生かした仕事をしたかった留学生が、業種の枠を超えてタイ語とキーワードを探したところ、IT企業のタイ貿易セクションで内定が決まった。

例：宿泊は求人が激減だと言われているが、地方ホテル、旅館からは求人が多く来ている。

例：コロナ禍前よりも求人が増えた業種・職種など

#### 以下、参加者からの事例共有

##### ～特定技能の在留資格での内定例～

- ・ 外食産業（洋菓子メーカー：ケーキ屋チェーン）に、正社員として就職したビジネス系専門学校の卒業生がいる。

- ・ アルバイト先の外食産業（チェーン店展開）で正社員として内定。

- ・ 学校にホテルの方に来ていただき、面接を実施。内定を得た。

- ・ 当初は国外にいる外国人を特定技能で受入れる予定だった企業が、コロナによる入国制限により新規の入国ができなくなったため、人材不足に急ぎ対応するべく、すでに日本にいる留学生を対象にして採用活動しているという企業（農業）があり、実際に採用が決まった留学生がいた。

- ・ 特定技能（介護）で入社した留学生がいる。

##### ～その他の内定例～

- ・ コロナの影響で2021年の3月卒業者は、飲食、ホテル業界の職での内定が減った。建設・建築関係、不動産、物流、IT業界での技人国ビザでの採用が増えた。

##### ～就職活動の状況～

（大学）：当校ではコロナ禍前後で、あまり就職活動に影響はない。そのため、コロナ禍ならではの話はできない。当大学には、コンサルやメーカーを希望する留学生が多いため。その中で、最近のめずらしい動きとしては、テレビ業界で内定が決まった中国人留学生がいる。テレビ業界はもともと外国人を新卒で取らない傾向にある業種。この留学生は中国向けの番組制作を志望し、内定を得た。他のテレビ局も、留学生採用に積極的になっているところがあると聞いている。また、出版業界も、新卒の留学生を採用し始めている状況だと聞いている。

（日本語学校）：当校では連携している人材紹介会社があり、例年、留学生から希望を取り、マッチングしていく形で就職の支援をしている。ただ、学校に依頼が来る求人は、コロナ禍で減少。学校側から積極的に情報を取っていく、という形で学生と企業を繋げた。待っていても求人は来ない。今年のニーズとしては、技能実習団体からの通訳を兼ねた実習生の

取りまとめ役や、理系の留学生を募集するエンジニア職については求人が来ていたが、全般的には厳しい状況だった。

(アメリカの大学) : アメリカではコロナウイルスの影響が酷く、授業はオンラインでの開催となっている。就職活動は厳しい状況。IT業界は業績が伸びているので、IT業界への就職活動は伸びていると聞いている。

#### ～就職支援方法について～

(大学) 当校はあまりコロナ前後で、影響はない。支援する側も、留学生だからといって、日本人と区別して就職支援をしているわけではない。留学生も日本人と同じような就職活動をしている。留学生特化の採用ではない。留学生に特化した支援方法があるのか聞きたい。

(大学) 当校では、日本語が上手な留学生はキャリアセンターで、そうではない留学生は日本語教師が支援している。

#### ～学校へ来ている求人に関して～

(大学) 当校には、留学生だからこそ採用したいという求人はあまりない。求人のお話を頂いた段階で、こちらから「留学生の採用は如何ですか?」と聞くと、留学生が応募可能かどうかの話がされる。日本人と同じ土俵で留学生を選考する、という企業が多い。

(企業) : 当社では、産学連携をしている場合は別だが、基本的に学校機関へは求人を積極的には出していない。ただ今後は、コロナ禍でビジネスの形態が変わっていく。飲食業としての店づくりを考えることのできる有能な人材を採用することを、手厚く考えていく必要がある。